

## 1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について  
 ① 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

東和医療圏における東部地域は、山間部に位置し、面積も広範囲にわたり、移動に時間を要するなど、交通の便が良くない地域が点在しています。

一方、宇陀市立病院におきましては、宇陀市によりまします奈良医大への寄附講座により令和元年4月に消化器内科医師2名が赴任してくださり、令和元年10月には総合診療科医師2名が増員となり、地域医療部を開設いたしました。

現在、地域医療部内に地域連携課を包括し、

- ・ 地域連携課の前方・後方支援の強化
- ・ 在宅医療・訪問リハビリの展開
- ・ へき地医療の支援 を行っています。

このような状況の中、当院は宇陀市民以外にも曾爾村・御杖村・東吉野村・奈良市・都祁など市外の患者も幅広く受け入れ、東部中山間地域全般の医療を広く担っていると考えています。

以上のような状況のもと、今後、当院が地域において担う具体的な役割を挙げますと、

1) 中山間地域の中核の二次医療機関として、軽症急性期医療、回復期医療を中心に質の高い医療を提供する役割です。

(→ 当院では、既に地域包括ケア病棟2病棟87床を運営しており、急性期機能と回復期機能のバランスに配慮した病院運営を行っています。)

2) 開業医が少ない当地では、地域唯一の公的病院として「めんどうみらい病院」として、一次医療機関の機能とともに「地域包括ケアシステム」における、基幹病院としての役割をも果たさなければなりません。

3) 二次救急医療を担う輪番制病院としての役割もあります。

4) へき地医療を支援する病院として、市内及び周辺地域に対し診療支援を行う役割も果たしていきます。

(→ 現在、室生東里診療所、室生田口診療所、御杖村診療所、奈良市都祁診療所、菟田野辻村病院への医師派遣を行っています。)

5) 在宅医療の充実です。

当地では在宅医療を担う開業医が減少、高齢化しており、将来、病院勤務医が在宅医療の一部を担わなければならないようになってきています。令和元年10月より地域医療部による在宅医療が本格的に始まりましたが、今後、訪問リハビリの充実を図ってまいります。特に令和元年6月より本格稼働いたしました「宇陀地域医療介護連携ICCTの『宇陀けあネット』」を有効活用し在宅医療の充実を図っていきたくと考えています。

## 宇陀市立病院

### 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和4年11月作成

6) 健診事業や健康教室の開催等、市民の健康や医療に対する意識を啓発する役割も担ってまいります。

7) 上記、地域密着型医療に加え、当院の強みである整形外科を中心とした専門医療（奈良肩肘センター・骨粗鬆症外来等）を広域に展開する、専門併設型地域包括ケアシステム支援病院を目指しています。

（2）自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

（3）（2）を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようご説明ください。

1) 済生会中和病院との役割分担につきまして、  
 当院では治療困難ながん治療、消化器手術、呼吸器手術、呼吸器手術が必要な患者さんについては済生会中和病院様の消化器手術センター、呼吸器外科センター等との病病連携を密にしていきたいです。  
 済生会中和病院様で急性期を加療いただいた患者様のポストアキュート治療に関しましては、宇陀市立病院の地域包括ケア病棟を受け皿として利用していただき、桜井地区・宇陀地区の地域包括ケアシステムの充実を図っていきたくと考えています。

救急医療に関しては、平成31年3月に締結しました「宇陀市立病院・済生会中和病院連携協議会」の「医療連携部会」を活用し、桜井地区・宇陀地区の救急患者様のスムーズな搬送連携体制を構築できればと考えています。

人材育成（教育、研修）に関しましても、「宇陀市立病院・済生会中和病院連携協議会」の「研修・安全部会」を活用し、済生会中和病院様の充実した研修体制を参考にさせていただき、済生会中和病院様とともに人材育成に努めていきたくと考えています。

また、宇陀地域医療連携 I C T の「宇陀けあネット」には済生会中和病院様、辻村病院様にも加入していただき、病病連携の I C T ネットワークが構築されつつあります。

済生会中和病院様には入院患者を含め多くの宇陀地区の患者様がお世話になっております。今後、済生会中和病院様に入院・通院されている宇陀地域周辺にお住まいの患者様が在宅医療を希望されましたら、「宇陀けあネット」の医療介護情報を有効活用し、宇陀市立病院より在宅サービス提供できるように、済生会中和病院様との連携を図っていきたくと考えています。

2) 辻村病院との役割分担につきまして、

辻村病院様との連携をさらに密にして、当院で急性期医療を受けられた、菟田野地区・東吉野村等、辻村病院様周囲にお住いの患者様のポストアキュート入院ならびに外来診療をお願いさせていただきたく思っています。

また、辻村病院様で加療されている患者様の容態が増悪した場合、宇陀市立病院で対応可能な場合はできる限りの受け入れをさせていただきます。容態が改善すればまた、辻村病院へ帰っていただけるような連携体制を構築させていただきたくと考えて

ています。

既に充実した在宅医療を展開されている辻村病院様と連携し、「施設連携型・在宅療養支援病院」として地域医療貢献を図っていきたくと考えています。

3) 以前より、積極的に在宅医療に取り組まれている「加藤クリニック」の加藤久和院長と連携し、在宅医療の質向上に努めてまいります。

※行が足りない場合は運時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。



③ 脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収取術等)の実施  対応している  対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術  対応している  対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等)について記入してください。

脳梗塞急性期の脳血栓溶解療法や脳外科手術等の適応患者様は、済生会中和病院様、天理よろず相談所病院様、高井病院様等ならびに奈良医大様との連携を密にし、迅速な対応をお願いできるによる努めて行きます。2022年度には脳神経内科常勤医師2名体制となり、ポストアキア治療に関し、当院の地域包括ケア病棟を受け皿として脳卒中後の早期リハビリを積極的に行い、在宅復帰を支援していきます。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか?  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等)について記入してください。

桜井市、磯城郡、宇陀市、曽爾村、御杖村地域の二次救急医療を担う輪番制病院として、引き続き、救急医療体制の充実を努めてまいります。また、平成31年3月に締結しました「宇陀市立病院・済生会中和病院連携協議会」の「医療連携部会」を活用し、桜井地区・宇陀地区の救急患者様のスムーズな搬送連携体制の構築に努めてまいります。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=床)  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等)について記入してください。

県下最大の2病棟87床の地域包括ケア病棟を利用し、積極的な内科リハビリ、整形外科術後リハビリを行い、在宅復帰を支援しています。また、2020年4月から訪問リハビリを本格的に開始し、現在、月約140件にまで達していますが、訪問リハビリの需要は多く、今後さらにスタッフの増員を計画しています。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等)について記入してください。

当地では在宅医療を担う開業医が減少、高齢化しており、病院勤務医が在宅医療の一部を担わなければならないようになってきています。2019年10月には、地域医療部を開設し、在宅医療を本格的に開始いたしました。現在、「在宅療養支援病院」として、総合診療科医師4名体制にて、月約90件の在宅診療を行っています。在宅医療の開始により、「病院まで行くことが大変なので、家で診てもらいたい」「住み慣れた我が家が療養したい」といった患者様、ご家族の声にお応えできるようになってきています。また、訪問診療を通じ、医療・介護に関わる多職種との連携がよりスムーズになり、安心して自宅退院を支援する体制がとれるようになってきました。特に、2019年6月より本格稼働いたしました「宇陀地域医療介護連携ICTの『宇陀ケアネット』」は在宅医療においても有効活用されています。

⑥ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか?  はい  いいえ
- (はいの場合 施設名称: )

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等)について記入してください。

現在、宇陀市には、すでに2箇所の訪問看護ステーションがあるため、現在、当院からの訪問看護は計画していません。既存の訪問看護ステーション、ケアマネージャー様等との連携を密に図り、在宅医療に貢献し、地域包括ケアシステムの構築に努めてまいります。

⑥ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか?  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

「宇陀市立病院、人生の最終段階・終末期における医療・ケアの考え方と行動指針」を作成し、全職員に周知しています。

2021年度からは、特に、透析患者様に対し、看護師による「終末期の意思決定支援」についての説明の取り組みを開始している。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

宇陀地区における小児科医は当院の医師のみであるため、小児医療全般を当院が担っている。たとえば、乳幼児健診、乳幼児・小児ワクチン接種、新型コロナウイルス感染症対応を行っている。

また、特殊外来として、非常勤医師による「発達相談外来」、「小児アレルギー外来」を開設している。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現状の維持。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

「DMAT指定病院」として、災害医療に備えた体制を構築している。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

奈良県東部中山間地のへき地医療の支援を強化するため、2021年12月、国より、へき地医療拠点病院に認可され、現在、へき地診療所への医師派遣を行っています。へき地医療におきましても、「宇陀けあネットワーク」は有効活用されています。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在、協力型臨床研修病院として、内科、整形外科では前期研修医の受入れを行っています。また、内科、整形外科では後期研修医の受入れも行っていきます。さらに、奈良県産科医師の研修受入れも行っていきます。

また、当院医師の地域（奈良市都祁診療所、宇陀市室生東里・田口診療所）、なびにへき地（御杖村診療所）への派遣も行っています。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？ はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大時の対応として、新型コロナウイルス感染症や疑似症患者を7階の地域包括ケア病棟で受入をするために陰圧装の設置や空床確保などを行いました。そのため、次に新興感染症の感染拡大が発生した際には、7階の地域包括ケア病棟において感染患者の受入が可能と考え

ています。

今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大時の対応を踏まえ、当院と地域医療機関で次に新興感染症の感染拡大が発生した際の連携・役割分担の明確化をしていくことが重要であり、当院では感染対策向上加算2の届出をしており、感染対策向上加算1の届出をしている地域医療機関との連携が必要不可欠となります。新興感染症の感染拡大時を想定した専門人材の確保・育成にも努めてまいります。また、今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には人材だけではなく感染防護具等の物品が不足する事態にもなりました。そのことを踏まえて、平時から感染拡大時を想定した感染防護具等の備蓄を行い、いつ新興感染症の感染拡大が発生したとしても対応できるよう予め準備を進めていきます。

新興感染症の感染患者を受入する際には院内感染の発生を未然に防止することが重要となります。また、もし院内感染が発生してしまった場合でも、その感染が拡大しないように速やかに制圧することが更に重要となります。そのため当院では以前より感染対策委員会などが中心となり、職員に対しての組織的な対応と教育・啓発活動に取り組んでいます。引き続き感染対策委員会などを中心として平時から院内感染対策の徹底、クラスター発生時の対応方針の共有、感染対策マニュアルの整備及び更新に取り組んでいきます。

⑪医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況  
取得済み ・ 一部取得済み ・ **取得予定** ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし  
（一部の場合の範囲）例：〇〇科以外、など
  - ・医師労働時間短縮計画の作成状況  
作成済み ・ 作成予定あり ・ **作成予定なし**
  - ・特例水準指定の申請予定  
予定あり ・ **予定なし**
- （予定ありの場合（複数選択）： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準）

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

医師の宿日直による労働時間管理については、労働基準監督署へ宿日直許可を得るための申請準備を行っています。また、質の高い医療提供体制の確保や医師の負担軽減のためのタスクシフト/シエアの担い手の確保という観点から医師事務作業補助者の増員・育成を当院では強化しています（10:1看護体制では最高の医師事務作業補助体制加算20:1を取得）。院内研修による管理者をはじめとした医療従事者全体の意識改革・啓発にも取り組んでいきます。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- 宇陀市南部、東部、東吉野村住民のかかりつけ医機能
- 上記地域の高齢者医療、在宅医療
- 宇陀市、東吉野村、桜井市住民の療養病院としての役割
- 在宅、介護施設との間でのスムーズな入退院機能
- 摂食・嚥下障害患者のリハビリテーション

## 辻村病院 地域医療構想における 具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

- 急性期病院からの転院（療養・在宅復帰）希望者の受け入れ
- 軽症内科急性期以外の急性期以外の急性期患者の受け入れは縮小

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

令和元年より県の事業を通じて、天理よろづ相談所病院との関係づくりを行った。地域連携センターを通じて、これまであまり連携の図れていなかった病院や周辺施設との関係づくりを深めていきたい。

令和4年11月作成

※行が足りない場合は通読、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	重症	軽症
急性期			26	26	0	0
回復期					26	0
慢性期			40	40	0	0
休養中 (今後再開する予定)					0	0
休養中 (今後廃止する予定)					0	0
(合計)			66	66	66	0
精神病床					0	0
結核病床					0	0
感染症病床					0	0
介護医療院					0	0

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。  
 (注1) 最大使用病床数  
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑤の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

・手術の実施

肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、(男性)生殖器官、(女性)生殖器官、骨軟部

・化学療法の実施 対応している 対応していない

・放射線治療の実施 対応している 対応していない

・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 対応予定なし

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ

（上記「はい」と回答した病院のみ）

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している 対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している 対応していない

（上記「対応していない」と回答した病院のみ）

・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している 対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施 対応している 対応していない

（上記「対応している」と回答した病院のみ）

・冠動脈バイパス手術の実施 対応している 対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施 対応している 対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 対応予定なし



③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施  対応している  対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術  対応している  対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能解小小、機能解小等)について記入してください。

現状の対応を継続

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能解小小、機能解小等)について記入してください。

現状の役割を継続

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=床)  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能解小小、機能解小等)について記入してください。

サービスクラスを基本方針として、訪問リハビリテーション件数の増大を検討、

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能解小小、機能解小等)について記入してください。

訪問リハビリ、訪問栄養指導の件数増大を検討中

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- ・(はいの場合 施設名称: )

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能解小、機能解小小、機能解小等)について記入してください。

みなし訪問看護を実施しています。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
**現状の取り組みを継続**

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している いいえ していいない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している いいえ していいない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している いいえ 参加していいない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
**対応予定なし**

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱いは いいえ 対応していいない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している いいえ していいない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
**対応予定なし**

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ いいい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい いいえ いいい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 いいえ 参加していいい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
**現状の対応を継続**

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
**現状の対応を継続**

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい いいえ いいい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ いいい
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい いいえ いいい
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい いいえ いいい
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい いいえ いいい
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい いいえ いいい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
**対応の予定なし**

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか?  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか?  はい  いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか?  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか?  はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか?  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか?  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか?  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との関係性や連携、機能移転等）について記入してください。  
現在の対応を継続

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況  
取得済み ・ 一部取得済み ・  取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし  
（一部の場合作成状況）例：〇〇科以外、など
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況  
作成済み ・ 作成予定あり ・  作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定  
（予定ありの場合（複数選択）： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準）  
予定あり ・  予定なし

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。  
医師の宿日直許可申請予定



## 1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

## (1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

済生会中和病院は、「地域の医療と福祉を支える済生会」を基本理念に、東和医療圏の地域中核病院（地域医療支援病院）として活動している。当院は東和医療圏の中でも、桜井市・宇陀市を中心とする南・東部地域の住民に対し急性期医療とケアミックス医療を提供しており、東和医療圏の高齢化率が2025年には33%まで上昇することが予測されるなか、地域の医療ニーズが求める体制を充実させている状況である。

このような医療環境のもとで、当院は、次のような役割を担うべきと考えている。

## 1 病連携について

宇陀市立病院と連携し、今後開業医の高齢化に伴う医療資源の不足が懸念される東和医療圏東部の宇陀市・宇陀郡地域の医療提供体制の確保を図る。更に、地域における近隣病院との機能分化と連携（病・病連携）を進め、効率的な医療提供体制に取り組んでいる。

## 2 病診連携について

当院は、地域医療支援病院及び在宅療養後方支援病院として認定されており、地域の診療所では対応が困難な専門的医療や高度な検査、手術を行う急性期医療提供体制を整備し、急性期医療における地域完結医療の充実に取り組んでいる。また、地域における在宅医療の推進を図っており、急性期を過ぎた患者さんの円滑な退院支援業務を推進し、地域の診療所、施設、訪問看護ステーションとの連携を深め、患者さんの在宅医療・介護に貢献している。

## 3 がん診療について

奈良県地域がん診療連携支援病院として、既設の乳癌外科、前立腺外来、放射線治療等の充実を図るとともに、令和元年8月に消化器センターと呼吸器センターを設置しがん診療の集学的治療体制を整備した。

## 4 救急医療について

救急医療提供についても積極的に取組み、総合診療科（平成28年8月設置）を中心に、救急受入率の向上を図り、地域の救急医療の担い手としての役割を果たしている。

## 5 人材育成について

人材の育成も最も大きな役割のひとつである。医療面においては、前述のセンターを中心に、医療の安全と質の向上を図り、専門的知識・技術をもつ人材の育成に取り組んでいる。また医療スタッフの面においては、認定看護師・特定行為看護師等の育成に積極的に取り組んでいる。同時に、済生会本部が推進している「医療・介護連携士」の育成にも取り組んでいる。更に、これらの知識・技術を地域を地城の病院、診療所、施設のスタッフと共有することにより、地域の医療、看護、福祉の質の向上を図っていきたい。

## 済生会中和病院

### 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和4年1.1月作成

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において病院が担わない又は縮小する役割、機能ができなくなるか明らかに説明ください。

当院と宇陀市立病院は地域における適切な医療提供体制を持続的に確保するために密接な医療連携を図ることを目的に、平成31年3月に「医療機能の確保及び連携に関する協定」を締結し、この協定に基づき10月に連携協議会を設置した。「医療連携部会」、「研修・安全部会」、「経営部会」の3つの部会を設け、医療連携の在り方と共に入材育成や経営の効率化に向け協議を進めている。

現在、この協議会を中心に宇陀市および桜井市における病院間の役割分担について検討を進めている。また、当院は、在宅医療は行っておらず、訪問看護ステーションなどの訪問医療・介護は行っていない状況であり、今後当院を退院する患者さんの在宅医療の必要性は高くなるものと考えている。本院において令和元年9月から本格的に運用を開始した在宅療養後方支援病棟の機能を充実し近隣の診療所、施設、訪問看護ステーション等との連携を強化し地域における在宅療養の充実を図ることが重要と考えている。そのためには、近隣の診療所、施設訪問看護ステーション等とICTを用いた連携システムが必要となる。その方策として宇陀地区においては医療介護連携 ICT ネットワークシステム(うだケアネット)に参加し情報共有(医療・介護)システムの実現を図っている。また、桜井市、磯城地域を中心に稼働している ICT ネットワークシステム(まほろばネット)についてもうだケアネットとの相互連携を含めた機能強化に向けた検討が必要と考えている。

また、今後周辺の高度急性期病院との連携により急性期の治療を終えた地域の患者さんの受入の強化を図ることも重要と考えている。それによってさらにはさらに地域包括ケア病棟を充実することを検討する必要があるものと考えている。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにするようご説明ください。

当院と宇陀市立病院との間において設置した連携協議会及びその部会である「医療連携部会」「研修・安全部会」「経営部会」の3つの部会により宇陀市及び桜井市における病院間の役割分担について検討を進めていく。

また、奈良医大を中心とする高度急性期病院と協議し機能分担を進めていく。それと共に、地域医療支援病院の規定にある評議員会において、地区医師会、市の行政、各種の施設の意見等を聴取し、地域の医療・介護ニーズに対応していく。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数夜になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R4年度>		(b-a)
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数	
一般病床	高度急性期	48	56	53	56
	急性期	56	96	93	96
療養病床	軽症	168	120	80	120
	回復期	48	48	45	48
療養病床	慢性期	0	0	0	0
	休養中	0	0	0	0
	(今後再開する予定)	0	0	0	0
	休養中	0	0	0	0
(今後廃止する予定)	0	0	0	0	0
(合計)	320	320	271	320	320
精神病床	0	0	0	0	0
結核病床	0	0	0	0	0
感染症病床	4	4	4	4	4
介護医療院	0	0	0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数故になっても結構です。

- ① がん
- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - 手術の実施  はい  いいえ
  - 化学療法の実施  はい  いいえ
  - 放射線治療の実施  はい  いいえ
  - 拠点病院等の指定  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 既設の乳腺外科、前立腺外科、放射線治療等の充実を図るとともに、令和元年8月に消化器センターと呼吸器センターを設置しがん診療の集学的治療体制を整備し、積極的に対応している。

- ② 心筋梗塞等の心血管疾患
- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - （上記「はい」と回答した病院のみ）
    - 24時間心血管疾患の急性期医療の実施  対応している  対応していない
    - 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  対応している  対応していない
    - （上記「対応していない」と回答した病院のみ）
      - 緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施  対応している  対応していない
      - 心疾患に対する外科手術の実施  対応している  対応していない
      - （上記「対応している」と回答した病院のみ）
        - 冠動脈バイパス手術の実施  対応している  対応していない
        - 急性大動脈解離の手術の実施  対応している  対応していない
        - 心血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 今後、桜井・宇陀地区の状況から、循環器内科の充実に対応していきたい

③ 脳卒中等の脳疾患

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- 脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施  対応している  対応していない
- 脳出血（くも膜下出血を含む）への対応  対応している  対応していない
- くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- くも膜下出血に対するコイル塞栓術  対応している  対応していない
- 脳出血に対する開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない
- 奈良県脳卒中地域連携パスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 積極的に脳卒中患者の受け入れを行い、急性期治療に対応する。脳神経外科医不在の際にも、遠隔画像診断を用いて対応できる体制を構築している。脳神経外科、神経内科の増員等を含め、脳卒中治療の充実を図っていきたい。

④ 救急医療

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- 病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- 小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 救急医療提供についても積極的の取組み、総合診療科（平成28年8月設置）を中心に、救急受入率の向上を図り、地域の救急医療の担い手としての役割を果たしたい。

⑤ リハビリ

- 当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- 心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）  対応している  対応していない
- 脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）  対応している  対応していない
- 回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数＝）  無し
- 訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- 通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 脳卒中等治療の充実とともに積極的に取り組む。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・在宅療養支援病棟の届出の有無  あり  無し
  - ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無  あり  無し
  - ・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院は、地域医療支援病院及び在宅療養後方支援病院として認定されており、地域の診療所では対応が困難な専門的医療や高度な検査、手術を行う急性期医療提供体制を整備し、急性期医療における地域完結医療の充実に取り組んでいる。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- （はいの場合 施設名称： ）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在対応していない。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

地域包括病棟を中心に実施している。今後とも取り組みについて充実させる。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

東和医療圏を中心に、入院加療が必要なケースに対応していく。また、中南和小児科二次輪番担当病院として役割を担っていく。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・分娩の取扱  対応している  対応していない
  - ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。
- 当院での対応の予定はない。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

東和医療圏の災害拠点病院として役割を担っていく。今後DMAT要員の養成等充実を図っていく。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在対応はしていない。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

基幹形臨床研修病院として、現在7名の研修医が活躍しており、今後も臨床研修の充実を図りたい。



⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？  はい  いいえ  
(重点医療機関等)
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等）について記入してください。

当院は、発熱外来・ドライブスルー検査・重点医療機関・協力医療機関として新型コロナウイルス感染症の対応を行っている。今後も、この体制を維持し、感染管理の人材の確保等充実していく。

⑪医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況  
 取得済み  一部取得済み  取得予定  一部取得予定  取得予定なし  
 (一部の場合の範囲 ( ) 例: ○○科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況  作成済み  作成予定あり  作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定  予定あり  予定なし  
 (予定ありの場合(複数選択): B水準・連携B水準・C-1水準・C-2水準)

2024年を踏まえ着実に対応してゆく。



## 1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

- ① 重症急性期は、今現在全ての疾患で当院の担う役割とは思っていません。診る疾患を得意なものに集中させ、地域のニーズを探りながらやってきました。東和医療圏の救急医療において、桜井地区で輪番制度が始まり、その時から曜日指定で協力してきましたが、救急告知病院としての役割も担っていることからその受け入れにも可能な限り協力してきました。
- ② 中等症患者や軽症患者の救急受け入れについては、少しでも役に立ちたいと取り組んで来ました。
- ③ 回復期医療やその後の医療療養が必要な患者さんは、リハビリテーションを通して少しでも現状より回復頂けるよう努めてきました。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

今後も、山の辺病院は

- ① 重症急性期は、これまで同様全ての疾患で当院の担う役割とはせず、診る疾患を得意なものに集中させ、地域のニーズを探りながらやっいていきたいと考えます。
- ② 中等症患者や軽症患者の救急受け入れについては、これからも少しでも地域の方々の役に立ちたいと取り組んでいきたい。
- ③ 回復期医療や医療療養が必要な患者さんは、効果のあるリハビリテーションを提供し続けること、現状よりも回復頂けるような手技等を獲得していくこと、個人により力量に差が出ないよう努めて研修会を開いていくこと、望まれるなら他の医療機関や学生の勉強と一緒に取り組むことにも力を注ぎたい。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

以前は、病病連携、病診連携、医療介護連携などは、それぞれの連携室や支援センターに任せていましたが、今年から、これらを結びつけるための組織として、「総合相談窓口」として独立した部門を作りました。

例えば病病連携で、入院相談や退院後の生活などに不安を抱えて、どうすればいいか迷っておられる方、その方のご家族、各病院や介護施設などの相談員さん達から、こういった窓口を声をかけていか分らないとき、この「総合相談窓口」の職員が、話を聞き、より適切な方向性を見つけて、単なるアドバイスだけでない、役に立つパイプになれるよう取り組み始めました。最近、病院、診療所、介護施設などに、パンフレットを持参して、取り組み内容を説明に伺っています。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。種数枚になっても結構です。

## 山の辺病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	高度急性期	急性期 重症 軽症	0	45	0	0
	回復期	0	0	45	0	0
	慢性期	52	52	0	0	0
	回復中 (今後再開する予定)	20	20	0	0	0
	休養中 (今後廃止する予定)			0	0	0
	(合計)	117	117	117	0	0
精神病床		0	0	0	0	0
結核病床		0	0	0	0	0
感染症病床		0	0	0	0	0
介護医療院				0	0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数  
・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~④の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。  
※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・手術の実施  はい  いいえ
- ・肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、男性生殖器、(女性)生殖器、骨軟部  対応している  対応していない
- ・化学療法の実施  対応している  対応していない
- ・放射線治療の実施  対応している  対応していない
- ・拠点病院等の指定  がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等)について記入してください。

現在、具体的な計画はありません。

将来、取り組みについて考えることがありません。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・上記「はい」と回答した病院のみ  はい  いいえ
- ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施  対応している  対応していない
- ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  対応している  対応していない
- ・上記「対応していない」と回答した病院のみ  対応している  対応していない
- ・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施  対応している  対応していない
- ・心疾患に対する外科手術の実施  対応している  対応していない
- ・上記「対応している」と回答した病院のみ  対応している  対応していない
- ・冠動脈バイパス手術の実施  対応している  対応していない
- ・急性大動脈解離の手術の実施  対応している  対応していない
- ・心血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化等)について記入してください。

現在、具体的な計画はありません。

将来、取り組みについて考えることがありません。

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施  対応している  対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術  対応している  対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能低下等)について記入してください。

現在、具体的な計画はありません。  
将来、取り組みについて考えることがあるかも知れません。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輸送体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能低下等)について記入してください。

現在、変更については考えておりません。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=52床)  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能低下等)について記入してください。

現在、変更については考えておりません。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能低下等)について記入してください。

現在、変更については考えておりません。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- (はいの場合)施設名称:訪問看護ステーション アップル

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能低下等)について記入してください。

現在、変更については考えておりません。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
現在、考えておりません。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
現在、考えておりません。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱い 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
現在、考えておりません。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している
- ・ 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
現在、考えておりません。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
現在、考えておりません。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
現在、考えておりません。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい ・  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？  
(重点医療機関等)  はい ・  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等、機能強化、機能拡充）について記入してください。

現在、取り組んでいる方法について変更は考えていません。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況  
取得済み ・ 一部取得済み ・  取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし  
(一部の場の場合の範囲 ( ) 例：〇〇科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況  
作成済み ・  作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定  
(予定ありの場合 (複数選択)： B 水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)  予定あり ・  予定なし

現状と今後の方向性（現在の働き方改革や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

現在、調査し必要なら対応していくことを考えています。





1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

・産婦人科・小児科・眼科については、医師の人員不足のため現時点では現状維持をしてゆく方向で検討している。

(2) 自院が希冀する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

・内科がなく全身管理の必要性のある患者の受け入れはできない。

・リハビリテーション施設がないため、在宅復帰への支援ができない。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかになるようご説明ください。

・医師確保が優先で、現在検討中である。

※行が足りない場合は運請、行を増やしてください、複数枚になっても結構です。

# 桜井病院

## 地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R4年度>		最大使用病床数
	(a)許可病床数	(b)実床数	(c)許可病床数	(d)実床数	
一般病床・療養病床	高度急性期				
	急性期				
	重症	41	41	19	
	軽症				
	回復期				
	慢性期				
療養病床	休養中				
	(今後再開する予定)				
	休養中				
	(今後廃止する予定)				
	(合計)	41	41	19	
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
介護医療院					

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数  
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を取寄せた時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか? はい  いいえ

・手術の実施

肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、男性生殖器、(女性)生殖器、骨軟部  
 対応している  対応していない   
 対応している  対応していない

・化学療法の実施

対応している  対応していない

・放射線治療の実施

対応している  対応していない

・拠点病院等の指定

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか? はい  いいえ

(上記「はい」と回答した病院のみ)

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している  対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している  対応していない

(上記「対応していない」と回答した病院のみ)

・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している  対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施 対応している  対応していない

(上記「対応している」と回答した病院のみ)

・冠動脈バイパス手術の実施 対応している  対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施 対応している  対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等)について記入してください。

③ 脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施  対応している  対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術  対応している  対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=床)  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- (はいの場合 施設名称: )

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携等)について記入してください。

⑧ ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

ハイリスク妊婦や分娩等の専門性の高い高度な治療を要する時は、奈良医大と連携し当院では担わない。

今後も地域連携を図り妊産婦の安全を第一に考えた医療を提供してゆく。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか? はい  はい  いいえ
- (重点医療機関等)
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい  はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか? はい  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか? はい  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能向上等）について記入してください。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
  - 取得済み  一部取得済み  取得予定  一部取得予定  取得予定なし
  - (一部の場合の範囲) 例: ○○科以外、など
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
  - 作成済み  作成予定あり  作成予定なし
- ・特別水準指定の申請予定
  - (予定ありの場合(複数選択)): B水準・連携B水準・C-1水準・C-2水準
  - 予定あり  予定なし

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。



1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について基幹病院として二次医療圏のみならず全県的（一部他府県）に高度医療を提供することを第一の使命とする。さらに、軽症急性期であっても複数の疾患があるあるいは該当診療料がない等の理由で他施設では診ることができない人も受け入れる方針に変わりがない。

同時に、近隣を含め他病院との連携を推し進め、それぞれの人が病状・病期に応じた医療を適切な場所で受けられるよう援助する。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※他院において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにすることが望ましい。

複数疾患を持つ人でも、急性期から回復期、慢性期に円滑に移行できるような病院間連携が進むよう力を尽くしたい。特に軽症急性期に関しては、これまで以上に連携が進むことが重要であると認識している。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにすることが望ましい。

診療科あるいは疾患群ごとに、軽症急性期以後の連携に取り組んでいる。東和地区では白川分院、奈良東病院が先行しているが、隣接二次医療圏とも取組を進めている。また、隣接の三重県上野総合市民病院とは消化器グループの連携に取り組んでいる。今後この充実を第一に掲げて取り組みたい。

また、当院診療各科の上級医師が先方に出向き、入院診療を援助（回診、コンサルテーション）する仕組みを試行している。さらに、在宅機能を関係の白川分院に移し、強化型在宅療養支援病院として白川分院が地域に貢献している。

令和4年11月作成

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

# 天理よろづ相談所病院

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R4年度>		<R7(2025年度)>		(b-a) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	345	許可病床数	440	(R7/2025年度)	440	
一般病床	高度急性期						95
療養病床	急性期	208	129				-79
	軽症	143	74				-69
療養病床	回復期						0
	慢性期						0
	休養中 (今後再開する予定)			72			-47
	休養中 (今後廃止する予定)						0
	(合計)		815	715			-100
精神病床							0
結核病床							0
感染症病床							0
介護医療院							0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。  
 (注1) 最大使用病床数  
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

- ① がん
- 当該領域について対応しているか? **はい** . . . . . **いいえ**
  - 手術の実施
    - 肺 呼吸器 . 消化器 . 泌尿器 . 乳腺 . 生殖器 . 男性生殖器 . (女性)生殖器 . 骨格部
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
    - 放射線治療の実施
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
    - 拠点病院等の指定
      - がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、奈良県地域がん診療連携支援病院
        - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
- ※今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 すでにがん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院であり、これら機能を維持・発展させる。
- ② 心筋梗塞等の心血管疾患
- 当該領域について対応しているか? **はい** . . . . . **いいえ**
  - (上記「はい」と回答した病院のみ)
    - 24時間心血管疾患の急性期医療の実施
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
    - 緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
    - 上記「対応していない」と回答した病院のみ)
      - 緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施
        - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
        - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - 心疾患に対する外科手術の実施
        - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - 上記「対応している」と回答した病院のみ)
        - 冠動脈バイパス手術の実施
          - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
        - 急性大動脈解離の手術の実施
          - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
        - 心血管疾患等への早期リハビリ
          - 対応している **はい** . . . . . 対応していない

※今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 循環器内科、心臓血管外科が24時間365日対応の体制を作り、ホットラインを通じて心血管疾患の超急性期治療にあたっている。また、待機的治疗も充実し地域の要請に応えているので、今後もこれらを維持・発展させる。

③ 脳卒中等の脳疾患

    - 当該領域について対応しているか? **はい** . . . . . **いいえ**
    - 脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
    - 脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収取組等)の実施
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
    - 脳出血(くも膜下出血を含む)への対応
      - くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術
        - 対応している **はい** . . . . . 対応していない
      - くも膜下出血に対するコイル塞栓術
        - 対応している **はい** . . . . . 対応していない



- ・脳出血に対する開頭血腫除去術
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

専用の SCU 病床が 12 床あり、脳神経外科、脳神経内科の医師が 24 時間 365 日ホットライン対応をし、緊急の血管内治療に対応している。この分野の患者数は今後増加が見込まれるので、さらに充実させ地域医療に貢献する。

#### ④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・救急告示病院の指定を受けているか？
- ・大腿骨骨折への対応
- ・病院詳細番制への参加
- ・小児科病院二次輪番体制への参加

はい  
はい  
対応している  
参加している  
参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

救急指定病院として 2 次救急まで受入れている。年間の救急車受け入れ台数は県内有数である。外傷、熱傷や 3 次救急は、人材が確保できれば受け入れ可能になる。

#### ⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？
- ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無
- ・訪問リハビリの実施
- ・通所リハビリの実施

はい  
対応している  
対応している  
有り（病床数＝  
対応している  
対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

急性期のリハビリ（脳卒中、一般急性期）と心臓リハビリに重点をおいて取り組んでおり、この方針を継続する。回復期への切れ目のない連携に注力する。

#### ⑥ 在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無
- ・訪問リハビリの実施（再掲）

はい  
有り  
有り  
対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院では行わない。関連施設の白川分院で実施中。

#### ⑦ 訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

はい  
はい

（はいの場合 施設名称：公益財団法人天理よろづ相談所 白川分院 在宅世話どりセンター）  
今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

関連施設の白川分院で実施中。

- ⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組
- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取り」に対する指針）を定めているか？

定めている  
定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

患者の ACP を尊重して医療を行う。  
患者が自身の ACP を立てる援助はその人のかかりつけ医療機関に委ねる。

#### ⑨ 小児医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・小児入院医療管理料の算定
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）

はい  
している  
している  
参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在の小児がん診療連携病院、2 次輪番病院を維持し、地域医療へ貢献する。

#### ⑩ 周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？
- ・分娩の取扱い
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定

はい  
対応している  
している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

分娩取扱は堅持するが、小児科に NICU がいないため早産や重症合併症妊婦を他施設へ搬送する方針は今後も変わらない。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

災害派遣医療チームは編成できないが、広域災害時には行政と連携のもと医療支援を担えるよう検討を進める。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

当院からへき地に直接医師を派遣する計画はないが、地域の基幹病院として支援する。

⑬医師の研修・派遣機能

- ・当該領域について対応しているか？ はい はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい はい
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい はい
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい はい
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい はい
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

初期・後期研修医だけでなく、研修を終えた医師に対しても各人の要望に応える研修の場は提供できる。医師派遣に関しては、時に行政のご指導をいただきつつ、個々の病院と検討する方針に変わりは無い。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい はい
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？ はい はい
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れられているか？ はい はい
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい はい
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい はい
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい はい
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい はい

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

新興感染症に手広く対応することは、建屋の構造的問題があるため、すぐには手厚くできない。奈良県内病院の一員として役割を分担する。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
  - 取得済み 一部取得済み 取得予定 一部取得予定 取得予定なし
- （一部の場合の範囲（一部建屋のみ取得）例：〇〇科以外、など）
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況 作成済み 作成予定あり 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定 予定あり 予定なし
- （予定ありの場合（模数選択） B水準 連携B水準 C-1水準 C-2水準

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

労働時間短縮計画は概ね作成済み。88項目の評価項目に着手している。宿日直許可については産婦人科、内科系、外科系で申請する予定。人員について、少ない診療科は大学医局に増員を依頼中。

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について地域の急性期病院として、高度急性期及び重症急性期病床を運用していくにあたり、脳卒中、脳梗塞等の脳・頭工リア、心筋梗塞等の心臓工リア、外傷治療の充実を図り、救急医療に力を入れていきます。

また、当院におきましては、リニアック(放射線治療)や、奈良県で唯一のガンマナイフ治療、陽子線治療をおこなう施設として、手術や化学療法も含めた、がん治療にも積極的に取り組んでいきます。

具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができらるかぎり明らかなようにご説明ください。  
 高度急性期及び重症急性期を中心とした医療提供をおこない、当院の回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟を利用して、自宅復帰を目指していきます。更に、訪問看護、訪問リハビリ等をおこない自宅復帰された患者さんのフォローもおこなっていきます。  
 また、近隣の病院・医院や施設等との連携を強化し、自宅復帰が困難な患者さんがスムーズに転院できるようにし、その後の急変時のバックアップ病院としての機能も果たしていきます。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について  
※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

病連携、病診連携の強化を図るべく、2022年10月より、地域連携室及び患者相談室の入退院支援部門への看護師及び社会福祉士の増員により体制強化をおこないました。

令和4年度より、「一次脳卒中センター(PSC)・コア」の認定を受けており、脳卒中(脳疾患)に関して、地域の医療機関との連携を更に強化し責務を果たします。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。掲載枚数になっても結構です。

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R4年度>		<R7年度>	
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	許可病床数	(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
一般病床	高度急性期	28	27	20	20	0
	重症	164	224	250	250	86
	軽症	162	38	54	54	-108
療養病床	回復期	50	52	52	52	2
	慢性期					0
	休養中 (今後再開する予定)					0
	休養中 (今後廃止する予定)					0
	(合計)	376	341	376	376	0
精神病床						0
結核病床						0
感染症病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか? (はい) . . . . . いいえ
- ・手術の実施 (癌) (呼吸器) (消化器) (乳腺) (泌尿器) (男性) (女性) (生殖器) (骨軟部)
  - 対応している
  - 対応していない
- ・化学療法の実施 (対応している) (対応していない)
- ・放射線治療の実施 (対応している) (対応していない)
- ・拠点病院等の指定 (がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院)

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。  
 当院では、がん治療に対して、手術、化学療法と併せて、リニアック(放射線治療)・ガンマナイフ・陽子線治療器を備え、放射線治療に注力しています。

また、予防医療としての、PET-CT、マンモPETも導入しており、がんに関与してトータル的に対応可能であり、今後、緩和のエリアを充実することにより、「奈良県地域がん診療連携支援病院」の指定を目指し、がん治療に更に力を入れていきます。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか? (はい) . . . . . いいえ
- (上記「はい」と回答した病院のみ)
  - ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 (対応している) (対応していない)
  - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 (対応している) (対応していない)
  - (上記「対応していない」と回答した病院のみ)
    - ・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 (対応している) (対応していない)
    - ・心疾患に対する外科手術の実施 (対応している) (対応していない)
    - (上記「対応している」と回答した病院のみ)
      - ・冠動脈バイパス手術の実施 (対応している) (対応していない)
      - ・急性大動脈解離の手術の実施 (対応している) (対応していない)
      - ・心血管疾患等への早期リハビリ (対応している) (対応していない)

今後の方向性 (今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等) について記入してください。  
 当院においては、循環器内科、心臓血管外科を標榜しており、カテーテル治療においては、近畿でもトップクラスの症例数があり、今後も、当院としては、東和医療圏の患者さんだけでなく、近隣医療圏からの、心臓に関する治療・救急対応に関しても積極的に対応していきます。

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応 対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術 対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術 対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術 対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ 対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等)について記入してください。

当院においては、令和4年度より、「一次脳卒中センター(PSC)コア」の施設として認定されており、脳・頭の疾患について、24時間365日対応していくのと同時に、近隣施設との連携にも力を入れていき、コアの施設としての役割を担って参ります。

また、脳血管リハビリも、積極的に取り組んでいます。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？ いいえ
- ・大腿骨骨折への対応 対応している
- ・病院群輪番制への参加 参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加 参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等)について記入してください。

当院においては、心臓疾患、頭の疾患、外傷疾患を中心に、24時間365日の救急受入が可能な体制を取っております。また、近隣病院・施設・在宅からの急変時におけるバックアップ病院としての救急受入に関しても、積極的に対応していきます。

ただし、小児救急・精神救急につきましては、現在同様、今後も、対応することは困難であると考えっております。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？ いいえ
- ・心臓疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲) 対応している
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無 有り(病床数=52床)
- ・訪問リハビリの実施 対応している
- ・通所リハビリの実施 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等)について記入してください。

当院においては、運動器リハビリ、呼吸器リハビリ、廃用症候群だけでなく、脳リハビリ、心臓リハビリにも力を入れており、心臓に関しては、特に、院内のフィットネス施設を利用して、心臓リハビリの終了後の患者様に対しても、運動のフォローをおこなっております。

また、昨年より、訪問リハビリも開始しており、好評を得ております。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病院の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無 有り
- ・訪問リハビリの実施(再掲) 対応している

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等)について記入してください。

昨年より、訪問リハビリを開始しております。

今後も、拡大していくように積極的に取り組んでいきます。

急性期病院として、近隣病院・医院・施設の後方支援として、急変時の救急受入は積極的に取り組んでおります。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい
- ・(はいの場合 施設名称) いいえ

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能制小、機能停止等)について記入してください。

昨年より、訪問看護を開始しております。

今後も、拡大していくように積極的に取り組んでいきます。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？ 定めている
- ・ 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

当院においては、現在、地域包括ケア病棟を有しており、上記、指針を定めています。

今後は、一般病床を含めた、病院全体での取組む予定です。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次給付体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

現在、院内での分娩に対応するため、小児科を開設していますが、同時に、予防接種等の対応及び近隣における小児医療（外来のみ）にも対応しています。

今後も、分娩時への対応及び小児科外来はおこなっていく予定です。NICU等の小児科入院・小児救急への対応は困難だと考えています。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

今後も、通常分娩が中心ではあるが、地域の分娩施設として、分娩をおこなっていく予定です。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

当院において、災害医療を積極的におこなえるだけの人材が不足しており、現状では、今後の対応見込みもありません。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

現状、人材が不足しており、今後も対応できる見込みはありません。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能強化等）について記入してください。

将来的には、基幹型臨床研修病院の指定を受け、初期研修医の育成をおこなっていく、奈良県下における医師充足の一端を担いたいと考えています。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？  はい  いいえ  
(重点医療機関等)
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

現在は、人員的な体制不足のため、軽症及び中等症患者のみの対応となっております。

今後も、重症対応可能な病院と連携をおこなっていきます。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況  
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・  一部取得予定 ・ 取得予定なし  
(一部の場合の範囲(特定の診療科に対して検討中)例:○○科以外、など)
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況  作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定  
(予定ありの場合(複数選択):  B水準  連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準)

現状と今後の方向性（現在の態勢状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

取得に向け、準備中です。





1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院の役割として地域の軽度急性期、回復期、慢性期の機能を担う事と考えており、主に下記の機能を強化していく。

- ・骨折や術後等でリハビリが必要な方の受入を担う回復期機能。
- ・高齢者施設や地域の高齢者の軽度から中等度の急性期患者の受入を担うサブアキキュート機能。
- ・急性期病院からの受け皿としてのポストアキキュート機能。
- ・介護医療院を併設し、自宅での生活が困難な方を受け入れる在宅機能
- ・高齢者の維持透析やリハビリが必要な方の透析治療機能。

### 具体的対応方針

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

自院では高度急性期や重症急性期の患者には対応できないので、術後のリハビリや在宅や施設への退院困難な方の受け皿としての役割を担っていききたい。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにするようにご説明ください。

近隣の急性期病院との連携バスや腰痛サポート等の連携によりスムーズな受け入れを現在取り組んでいる。また、天理よろづ相談所病院様から当院へ入院された一部の患者様については、天理よろづ相談所病院で主治医であった医師が当院へ定期的に来ていただきフォローアップしていただいております。

令和4年11月作成

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

## 奈良東病院 地域医療構想における

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度>		<R4年度>		最大使用病床数
	(a)許可病床数	許可病床数	(R7/2025年度)	(b)将来	
高度急性期					
急性期	重症				0
	軽症				0
回復期		92	84	84	0
慢性期		168	78	78	-8
休養中					-90
(今後再開する予定)					0
休養中					0
(今後廃止する予定)					-98
(合計)		260	162	162	
精神病床					0
結核病床					0
感染症病床					0
介護医療院			88	88	88

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。  
 (注1) 最大使用病床数  
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について  
 ※以下①~③の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は適時、行を追加してください。複数枚になっても結構です。

① がん  
 ・当該領域について対応しているか? はい ． ． いいえ  
 ・手術の実施  
 肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、(男性)生殖器等、(女性)生殖器等、骨軟部  
 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 ・放射線治療の実施  
 ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院  
 今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患  
 ・当該領域について対応しているか? はい ． ． いいえ  
 (上記「はい」と回答した病院のみ)  
 ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している ． 対応していない  
 ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している ． 対応していない  
 (上記「はい」と回答しない)と回答した病院のみ)  
 ・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している ． 対応していない  
 ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している ． 対応していない  
 (上記「対応している」と回答した病院のみ)  
 ・冠動脈バイパス手術の実施 対応している ． 対応していない  
 ・急性大動脈解離の手術の実施 対応している ． 対応していない  
 ・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している ． 対応していない  
 今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

③ 脳卒中等の脳疾患  
 ・当該領域について対応しているか? はい ． ． いいえ  
 ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施 対応している ． 対応していない  
 ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 対応している ． 対応していない  
 奈良県脳卒中地域連携バスへの参加 参加している ． 参加していない

④ 救急医療

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

併設の高齢者施設等からの軽度から中等症程度の救急の受入をしております。

- ⑤ リハビリ
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）  対応している  対応していない
  - ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）  対応している  対応していない
  - ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り（病床数=40床）  無し
  - ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
  - ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ⑥ 在宅医療
- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
  - ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
  - ・訪問リハビリの実施（再掲）  対応している  対応していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ⑦ 訪問看護
- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- （はいの場合 施設名称：訪問看護ステーションひまわり2・ひまわり奈良・いずみ・ひまわり北之庄・ひまわり秋篠・ひまわり生駒・ひまわり香芝）
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ⑧ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組
- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ⑨ 小児医療
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
  - ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
  - ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ⑩ 周産期医療
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
  - ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

- ⑪ 災害医療
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
  - ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
  - ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか?  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか?  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか?  はい  いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか?  はい  いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか?  はい  いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか?  はい  いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか?  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか?  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか?  はい  いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか?  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか?  はい  いいえ
- ・平時から自病院用で感染防護具等の備蓄をしているか?  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか?  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか?  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
  - 取得済み ・ 一部取得済み ・  取得予定 ・ 取得予定なし
  - （一部の場合の範囲（ ）例：〇〇科以外、など）
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
  - 作成済み ・ 作成予定あり ・  作成予定なし
  - ・特例水準指定の申請予定
    - 予定あり ・  予定なし
- （予定ありの場合（複数選択）： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準）

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

病院名：公財）天理よろづ相談所病院 白川分院

医療圏： 東和

1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について  
当院の医療提供体制は、①療養病床、②回復期リハ病床、③地域包括ケア病床、④  
精神科病床で構成されている。  
急性期治療を終えた後に、社会復帰、在宅復帰を目指すための医療提供を行う。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において真院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。  
急性期医療を担う医療機関との連携強化をすすめる。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について  
※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をでき  
るかぎり明らかにするようにご説明ください。

出来る限り“顔のみえる”関係の構築に取り組みたいと考えている。  
腎臓造設（PEG）の適応となる患者を多く受け入れられているが、当院では実施で  
きない。昨年度、大和郡山病院、西の京病院を訪問させていただきPEG連携を構  
築できた。

※行が足りない場合は通称、行を増やしてください、複数枚になっても結構です。

## 天理よろづ相談所病院

### 白川分院

## 地域医療構想における

## 具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	高度急性期	急性期	重症	軽症	(b-a)	
回復期	50				0	
慢性期	50	100			0	
休養中 (今後再開する予定)				87	-50	
休養中 (今後廃止する予定)					50	
(合計)	100	100			0	
精神病床	86	43			43	-43
結核病床					0	0
感染症病床					0	0
介護医療院					0	0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑤の領域の今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

※選択項目については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか? はい
- ・手術の実施
  - 肺、呼吸器、消化器、乳腺、泌尿器、(男性)生殖器等 (女性)生殖器、骨軟部
  - 対応している ○
  - 対応していない ○
- ・化学療法の実施
  - 対応している ○
  - 対応していない ○
- ・放射線治療の実施
  - 対応している ○
  - 対応していない ○
- ・拠点病院等の指定
  - がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか? はい
- (上記「はい」と回答した病院のみ)
  - ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している ○
  - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している ○
  - (上記「対応していない」と回答した病院のみ)
    - ・緊急(24時間365日)ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している ○
    - ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している ○
    - (上記「対応している」と回答した病院のみ)
      - ・冠動脈バイパス手術の実施 対応している ○
      - ・急性大動脈解離の手術の実施 対応している ○
      - ・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している ○

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施  対応している  対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術  対応している  対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ  参加している  参加していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能移小、機能廃止等)について記入してください。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能移小、機能廃止等)について記入してください。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・心臓血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=50床)  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能移小、機能廃止等)について記入してください。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能移小、機能廃止等)について記入してください。

地域の診療所との連携を図るためにも、在宅療養後方支援病院の役割について検討していただきたい。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- (はいの場合 施設名称: )

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能移小、機能廃止等)について記入してください。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」「適切な看取りに対する指針」を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
 ある程度の指針はあるが十分に活用されていないのが現状。  
 必要最低限の指針を明確にするとともに、活用を拡げるための検討が必要である。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定 している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している  ~~参加していない~~

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 ~~参加している~~  ~~参加していない~~

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい  はい  いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

自家用車で通院できない高齢者が多い地域での医療提供が課題と聞いている。  
 訪問診療所での対応が検討されれば、協力ができればと考えている。

⑫周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い 対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい  はい  いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい  はい  いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい  はい  いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい  はい  いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。



⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？ はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？  
(重点医療機関等) はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？ はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？ はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？ はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？ はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？ はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携統合や連携、機能部小、機能部大、機能部等）について記入してください。

⑪医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況  
取得済み  一部取得済み  取得予定  一部取得予定  取得予定なし  取得予定なし
  - （一部の場合作成計画の範囲（療養病棟・回復期リハ病棟）について宿日直許可取得済）
- 例：〇科以外、など
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況  作成済み  作成予定あり  作成予定なし
  - ・特例水準指定の申請予定  予定あり  予定なし
  - （予定ありの場合（複数選択）： A水準・ B水準・ 連携B水準・ C-1水準・ C-2水準）

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

- ・医師労働時間短縮計画について、概ね作成済
- ・評価項目 88 項目について、着手している。
- ・宿日直許可申請について、精神神経科に関して申請予定。



1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

慢性期でなお療養を要する患者に対する医療、および比較的軽症の急性期患者に対する医療を行う。訪問診療、訪問リハビリも行っている。したがって、それに見合う機能を維持していく。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかにできるようご説明ください。

従来通り、高度および緊急医療は担わず、将来的にも担う予定はない。

従って、現在の機能の変更はない。人工の減少が進み、医療需要が減少すれば、それに従って医療機能の縮小を行う。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組（予定も含む）があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにようご説明ください。

高度および緊急を要する医療は、これからも天理よろづ相談所病院様および高井病院様へ紹介する予定。

病診・病病連携は、地区医師会での連携協議会にて取り組んでいる。具体的には、高度医療を要する場合は天理よろづ相談所病院様へ、緊急医療は高井病院様へ依頼している。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

# 高宮病院 地域医療構想における 具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について  
 ※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。  
 ※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度>		<R4年度>		<R7/2025年度>		<b-a>	
	(a)許可病床数	最大使用病床数	許可病床数	最大使用病床数	(R7/2025年度)	H28年度からの増減	(R7/2025年度)	H28年度からの増減
高度急性期						0		0
急性期	重症					0		0
	軽症					0		0
回復期						0		0
慢性期			40		40	0		0
休養中						0		0
(今後再開する予定)						0		0
休養中						0		0
(今後廃止する予定)						0		0
(合計)			40		40	0		0
精神病床						0		0
結核病床						0		0
感染症病床						0		0
介護医療院						0		0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。  
 (注1) 最大使用病床数  
 ・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑤の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は通時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ  
 ・手術の実施  
 肺、呼吸器・消化器・乳腺・泌尿器、(男性)生殖器等・(女性)生殖器・骨幹部  
 ・化学療法の実施 対応している 対応していない  
 ・放射線治療の実施 対応している 対応していない  
 ・拠点病院等の指定 がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・奈良県地域がん診療連携支援病院  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？ はい いいえ  
 （上記「はい」と回答した病院のみ）  
 ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施 対応している・対応していない  
 ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施 対応している・対応していない  
 （上記「対応していない」と回答した病院のみ）  
 ・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施 対応している・対応していない  
 ・心疾患に対する外科手術の実施 対応している・対応していない  
 （上記「対応している」と回答した病院のみ）  
 ・冠動脈バイパス手術の実施 対応している・対応していない  
 ・急性大動脈解離の手術の実施 対応している・対応していない  
 ・心血管疾患等への早期リハビリ 対応している・対応していない  
 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施  対応している  対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術  対応している  対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携パスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輸送体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=  無し)  対応している  対応していない
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。

現在、院内および訪問でのリハビリについて対応・実施している。  
今後この状況を維持していく予定であり、また必要に応じて他の医療機関との連携を図っていく予定。

⑥在宅医療

- ※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。
- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病院の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。

現在、当院のかかりつけの患者様、また近隣の介護施設入居者に対して訪問診療を行っている。  
今後、現状を維持していく予定。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- (はいの場合 施設名称: )

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能格小、機能廃止等)について記入してください。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当院は慢性期医療を提供していることから、終末期等の患者様もみられるため、指針を定めており、指針に基づいて本人・ご家族と相談等しながら取り組みを行っている。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲） 参加している

いいえ  
していない  
していない  
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱い 対応している
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 している

いいえ  
対応していない  
していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑪災害医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？ はい
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？ はい
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している

いいえ  
いいえ  
いいえ  
参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

現在、当院の規模や設備の観点から、EMISのみの参加をしている状況であり、今後変更はない。

⑫へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？ はい

いいえ  
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？ はい
- ・臨床研修協力施設であるか？ はい
- ・専門研修の基幹施設であるか？ はい
- ・専門研修の連携施設であるか？ はい

いいえ  
いいえ  
いいえ  
いいえ  
いいえ  
いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？  
(重点医療機関等)  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自院用で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携体制や連携、機能強化等）について記入してください。

地域密着型の医療機関として、かかりつけの患者様の発熱時に対応できるよう発熱外来の認定を受けており、抗原検査のみ実施している。  
また、当院の設備やマンパワーの観点から、感染患者の入院受入れは難しいため、今後も発熱外来のみの対応となる予定。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の曜日直許可の取得状況  
取得済み ・ 一部取得済み ・ 取得予定 ・ 一部取得予定 ・ 取得予定なし
- （一部の場合の範囲（ ）例：〇〇科以外、など）
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況 作成済み ・ 作成予定あり ・ 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定 予定あり ・ 予定なし
- （予定ありの場合（複数選択）： B水準 ・ 連携B水準 ・ C-1水準 ・ C-2水準）

現状と今後の方向性（現在の業務状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

当院における常勤医師の時間外勤務等については、上限範囲内で現在稼働している状況である。  
また、有給休暇等の取得促進にも、働きかけている。





1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

(1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当センターは昭和63年6月の開設以来、心身障害者(児)の社会自立を促進するために、医療福祉を担う県の中核施設として、同一建物に併設の福祉、教育、行政の関係機関や地域の医療機関と連携しながらその役割を果たしている。

具体的には、

- ・脳血管障害や頭部外傷、脳炎等による高次脳機能障害に対して生活能力向上をめざした訓練や身体機能回復を目指したリハビリ訓練の実施
  - ・奈良県の障害者(児)や高齢者の整形外科手術をはじめとした急性期医療及び在宅療養生活を継続できるよう慢性期医療の実施
  - ・小児科では子どもの様々な発達障害・知的障害・運動障害・自閉症スペクトラム障害・構音障害などの診断・治療と各種の訓練・療育の相談を実施し、学齢期後も引き続き精神科の児童思春期外来で治療を継続
- 以上をさらに強化し、心身障害者(児)の社会自立に貢献する。

(2) 自院が希望する、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担わない又は縮小する役割・機能ができるかぎり明らかになるようご説明ください。

整形外科領域における障害者(児)の急性期医療を継続し、術後にリハビリを必要とする患者を主たる対象とするため、地域一般病棟の3階病棟50床を26床に縮小し、24床を回復期リハビリ病棟として機能転換することにより、リハビリ機能の充実を図った。(令和元年11月1日実施済)

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるだけ明らかにするようにご説明ください。

- ・奈良県立病院機構内の病院や地域の病院、診療所からの紹介・逆紹介の増加
- ・近隣の障害者施設等からの骨折等の治療を積極的に受け入れ
- ・介護支援専門員や相談支援専門員と連携し、重症心身障害者への支援を実施するため、医療型短期入所サービスを開始(令和2年5月1日開始)
- ・「なら地域医療連携実務者協議会」に加盟し、各病床機能に応じた患者紹介が円滑に進むよう連携を強化
- ・地域で発達障害児への対応力を強化するため、奈良県社会福祉事業団が実施する「子ども地域支援事業」へ作業療法士を派遣し、保育園・幼稚園・小学校の職員(保育士・教員等)へ指導助言を引き続き行い地域と連携

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数行になっても結構です。

# 奈良県総合リハビリテーション

## センター

### 地域医療構想における

#### 具体的対応方針

令和4年11月作成

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度（2025年度）の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

一般病床・療養病床	<H28年度> (a)許可病床数		<R4年度> 許可病床数		(b)将来 (R7/2025年度) H28年度からの増減	
	高度急性期	急性期	重症	軽症	重症	軽症
重症					0	0
軽症			50	0	-50	0
回復期		50	100	100	50	50
慢性期					0	0
休養中 (今後再開する予定)					0	0
休養中 (今後廃止する予定)					0	0
(合計)		100	100	100	100	0

精神病床					0	0
結核病床					0	0
感染症病床					0	0
介護医療院					0	0

※ 用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①~⑥の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。

※行が足りない場合は遡り、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

・当該領域について対応しているか？

はい

いいえ

・手術の実施

肺、呼吸器、消化器、乳癌、泌尿器、甲状腺、消化器、泌尿器、皮膚科、産科

・化学療法の実施

対応している

対応していない

・放射線治療の実施

対応している

対応していない

・拠点病院等の指定

がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、がん診療連携拠点病院、がん診療連携拠点病院

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

② 心筋梗塞等の心血管疾患

・当該領域について対応しているか？

はい

いいえ

（上記「はい」と回答した病院のみ）

・24時間心血管疾患の急性期医療の実施

対応している

対応していない

・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

対応している

対応していない

（上記「対応していない」と回答した病院のみ）

・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

対応している

対応していない

・心疾患に対する外科手術の実施

対応している

対応していない

（上記「対応している」と回答した病院のみ）

・冠動脈バイパス手術の実施

対応している

対応していない

・急性大動脈解離の手術の実施

対応している

対応していない

・心血管疾患等への早期リハビリ

対応している

対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

③脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  対応している  対応していない
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施  対応している  対応していない
- ・脳出血(くも膜下出血を含む)への対応  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  対応している  対応していない
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術  対応している  対応していない
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ  対応している  対応していない
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 奈良県脳卒中地域連携バスへ引き続き参加し、脳卒中患者のリハビリを早期に実施

④救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨折への対応  対応している  対応していない
- ・病院群輪番制への参加  参加している  参加していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  参加している  参加していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 近隣の障害者施設等からの骨折等、整形外科領域の患者を積極的に受け入れ

⑤リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ(再掲)  対応している  対応していない
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  有り(病床数=74床)  無し
- ・訪問リハビリの実施  対応している  対応していない
- ・通所リハビリの実施  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。  
 脳卒中、外傷、難病、高次脳機能障害等の患者に対するリハビリを中心とした医療の提供と共に、子どもの発達障害・知的障害・運動障害・自閉症スペクトラム障害・構音障害などの診断・治療と各種の訓練・療育の相談を今後も継続

⑥在宅医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無  有り  無し
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無  有り  無し
- ・訪問リハビリの実施(再掲)  対応している  対応していない

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？  はい  いいえ
- (はいの場合 施設名称: )

今後の方向性(今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等)について記入してください。

⑧ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」(「適切な看取りに対する指針」)を定めているか？  定めている  定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・小児入院医療管理料の算定  している  していない
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定  している  していない
- ・小児科病院二次輪番体制への参加（再掲）  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
 肢体不自由や発達障害、吃音、嚥下困難等に関する小児リハビリの充実

⑩災害医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・DMAT指定病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加  参加している  参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑪へき地医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- 今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・分娩の取扱い  対応している  対応していない
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定  している  していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑬医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか？  はい  いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

⑭新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか？  はい  いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか？  はい  いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか？  はい  いいえ
- ・平時から自病院内で感染防護具等の備蓄をしているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が定められているか？  はい  いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか？  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との連携状況や連携、機能強化、機能向上等）について記入してください。

⑮医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況
  - 取得済み
  - 一部取得済み
  - 取得予定
  - 一部取得予定
  - 取得予定なし
- （一部の場合の範囲（例：〇〇科以外、など））
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況
  - 作成済み
  - 作成予定あり
  - 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定
  - 予定あり
  - 予定なし
- （予定ありの場合（複数選択）： B水準・連携B水準・C-1水準・C-2水準）

現状と今後の方向性（現在の過労状態や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。



## 1. 地域医療構想の達成に向けた将来の方向性について

## (1) 地域医療構想を踏まえ、自院が今後地域において担う役割、機能について

当院は平成5年4月に設立された川西町、三宅町、田原本町、広陵町の4町による組合立の自治体病院であります。ただこの4町には急性期機能や救急対応できない病棟がなく、本地域で担う基本的な役割としては急性期や救急疾患に対応していかなければなりません。当院では桜井地区病院群輪番参加、重症腹痛ネットワーク、消化器病センターの設置、中南和地区の小児2次輪番参加などの役割を担っており、特に小児科は6人の常勤医が在籍しているため、東和地区での小児救急の中核を担っていると思えます。また、高度急性期医療に対応するために4床のICUを持ち備えています。

診療科ごとの特色として、小児科では奈良県唯一の小児アレルギー専門医の指導の下、小児アレルギーエデュケーター（PAE）をもつ看護師、栄養師、薬剤師でのチーム医療を行っており、多くの小児患者の検査、診療を行ってきています。そして整形外科では令和元年には常勤医が2、3人だったところ、現在は院長を含めて常勤医を5人に増員して、急性期治療、救急での骨折などの治療を強化することができています。また関節リウマチを含めた手の外科、足の外科では最先端の治療を行っており、県外からの紹介も少なくありません。東和地区での整形外科領域での専門分野のすみわけで、手の外科と足の外科は当院へ集約していく方向です。

当初は220床すべてを急性期で登録しておりましたが、地域での高齢者やより長いリハビリ治療を要する術後患者のために、平成26年8月から50床を地域包括ケア病棟としております。さらに在宅復帰を支援するため、令和2年から訪問看護ステーションを稼働させており、その患者数は年々増加しております。そのため在宅後方支援に関しても充実させております。

また面倒見のいい病院の特徴として、当院は県内唯一の独立型の緩和ケア病棟を有しており、県内および近隣府県の医療機関から紹介されたがん患者への緩和医療サポートを提供いたします。

先般の本会議でもありましたように、東和地区での急性期医療の中心は、令和3年度のデータから天理よろず相談所病院、済生会中和病院および高井病院となっております。急性期医療を総えた患者で4町在住の患者はスムーズに当院の地域包括ケア病棟へ受け入れていくことも重要であり、転院を図ることも必要と思われれます。

ところで新型コロナウイルス感染症への対応ですが、令和3年1月から当院は重点医療機関として、コロナ感染者を受け入れてまいりました。ただ当院の性格上、小児患者を積極的に受け入れることを県に申し入れておりましたこともあり、半数以上の患者が小児患者でありました。このことはこの2年間の当院の特徴となりました。今後このような体制で小児患者を積極的に受け入れていく予定です。

ただ受け入れ病床数は12床でありましたが、11月1日から6床と疑似症4床に減床させていただきます。同時に今までコロナ病棟としていた地域包括ケア病棟の6階から4階病棟の一部に異動いたしました。そして昨年度から計画しておりました6階地域包括ケア病棟の改修工事を予定しております。まだ工期は決定しておりませんが、刷新した病棟で自宅退院を目指したりリハビリテーションを行っていきたいと思っております。

消化器病、小児医療、整形外科の急性期医療、地域包括ケア病棟での回復期および緩和ケア病棟の活用で、地域医療を継続していきたいと考えております。一方で脳神経外科や循環器内科、多発外傷など、当院では急性期対応の困難な患者さんについては、上記の東和地区の3病院と地理的に近い中西和の急性期病院にて急性期医療を行っていただいた後に、当院で受け入れたい

# 国保中央病院

## 地域医療構想における

### 具体的対応方針

令和4年11月作成

と考えております。

(2) 自院が希す、地域の病院間での役割分担について

※地域において貴院が担われない又は縮小する役割・機能ができなくなるようご説明ください。  
当院では消化器疾患、小児アレルギ一疾患、小児尿疾患、整形外科的な急性期医療について対応可能です。

ただ多発外傷や頭部外傷や脳卒中などの脳神経外科および脳神経内科疾患、そして循環器内科で行うべき心血管疾患などには対応困難です。(1)でも述べましたようにその際には急性期治療を他院にお願います。ただし急性期治療が繁わりましたら、当院への受け入れはスムーズにさせていただきます。

当院ではがん治療に関して術後のケアのための転院や緩和ケアへの移行などに関しては受け入れてきました。これに関しても今まで通り継続していくつもりです。また整形外科では手の外科、足の外科は最先端の手術を行うことができ、脊椎外科に関しては他院に紹介することになります。東和地区では天理よろず相談所病院を希望される患者さんが多く、その他奈良県総合医療センターや香芝旭ヶ丘病院に紹介して、術後安定しましたら当院でのリハビリテーションを行っていきます。

それぞれ診療科の中でもすみわけが必要と考えています。患者が安心して医療を受けられる地域医療が大切かと思えます。

(3) (2)を進めるための、地域における連携推進などの取り組み方針について

※複数病院間の連携協定など具体的な取組(予定も含む)があれば、相手方の病院名やその取組の内容をできるかぎり明らかにしながらご説明ください。

繰り返しになりますが、先般の本会議でもありましたが、東和地区での急性期医療の中心は令和3年度のデータから天理よろず相談所病院、済生会中和病院および高井病院となっております。急性期医療を終えた患者で4町在住の患者はスムーズに当院の地域包括ケア病棟へ受け入れていくことも重要であります。(2)を進めるためには、当院から紹介先の地域連携室などとの強化を図り、特に事務サイド間での関係を整え取っておくことが重要と考えます。地域医療ネットワークが構築されており、さらにネットワークの質と量の充実が必要と思われ

ます。  
特に東和の上記3病院と隣接する中西和の西和医療センターや高田市立病院、奈良医大と奈良県総合医療センターとも医師同士の連携だけではなく、地域連携推進のためにさらなる連携が必要と考えます。

また今後とも問題になるであろう小児科救急ですが、当院では多く受け入れていたものやより多くの小児輪番に参加して頂く病院が必要になると思えます。出来得る限り、2次輪番への参加をお願いできればと希望いたします。

※行が足りない場合は適時、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

2. 地域医療構想の達成に向けた具体的な計画について

※1. を踏まえた具体的な計画について記載してください

(1) 機能毎の病床数のあり方等について

※H28年度の列は、別紙1-2「H28年度病床数一覧」の数値を記入してください。

※R4年度、R7年度(2025年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

	<H28年度>		<R4年度>		(b)将来 (R7/2025年度)	(b-a) H28年度からの増減
	(a)許可病床数	許可病床数	許可病床数	最大使用病床数		
高度急性期	4					-4
急性期		97	54	39	54	-43
慢性期		69	116	105	116	47
回復期		50	50	50	44	-6
慢性期						0
休養中 (今後再開する予定)						0
休養中 (今後廃止する予定)						0
(合計)		220	220	194	214	-6
精神病床						0
結核病床						0
感染症病床						0
介護医療院						0

※用語の定義は、病床機能報告と同様です。

(注1) 最大使用病床数

・1年間(R3.4.1~R4.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。



(2) 領域ごとの医療機能の方向性について

※以下①～④の領域の今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。  
 ※選択肢については、あてはまるものに○をつけてください。  
 ※行が足りない場合は題意、行を増やしてください。複数枚になっても結構です。

① がん

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
  - ・手術の実施  はい  いいえ
  - ・呼吸器  はい  いいえ
  - ・消化器  はい  いいえ
  - ・泌尿器  はい  いいえ
  - ・男性生殖器  はい  いいえ
  - ・女性生殖器  はい  いいえ
  - ・骨軟部  はい  いいえ
  - ・化学療法の実施  はい  いいえ
  - ・放射線治療の実施  はい  いいえ
  - ・拠点病院等の指定  はい  いいえ
- がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院  はい  いいえ
- がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

③ 脳卒中等の脳疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施  はい  いいえ
- ・脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施  はい  いいえ
- ・脳出血（くも膜下出血を含む）への対応  はい  いいえ
- ・くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術  はい  いいえ
- ・くも膜下出血に対するコイル塞栓術  はい  いいえ
- ・脳出血に対する開頭血腫除去術  はい  いいえ
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ  はい  いいえ
- ・奈良県脳卒中地域連携バスへの参加  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

④ 救急医療

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・救急告示病院の指定を受けているか？  はい  いいえ
- ・大腿骨骨折への対応  はい  いいえ
- ・病院群輪番制への参加  はい  いいえ
- ・小児科病院二次輪番体制への参加  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

桜井地区輪番制や重症腹症ネットワークに参加し、小児に関しては中瀬和小児科二次救急輪番体制に参加しており、今後も維持していく予定であります。

⑤ リハビリ

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- ・心血管疾患等への早期リハビリ（再掲）  はい  いいえ
- ・脳血管疾患等への早期リハビリ（再掲）  はい  いいえ
- ・回復期リハビリ病棟入院料届出の有無  はい  いいえ
- ・訪問リハビリの実施  はい  いいえ
- ・通所リハビリの実施  はい  いいえ

② 心筋梗塞等の心血管疾患

- ・当該領域について対応しているか？  はい  いいえ
- （上記「はい」と回答した病院のみ）
  - ・24時間心血管疾患の急性期医療の実施  はい  いいえ
  - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  はい  いいえ
  - ・緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施  はい  いいえ
  - （上記「対応していない」と回答した病院のみ）
    - ・緊急（24時間365日）ではないが経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施  はい  いいえ
    - ・心疾患に対する外科手術の実施  はい  いいえ
    - （上記「対応している」と回答した病院のみ）
      - ・冠動脈バイパス手術の実施  はい  いいえ
      - ・急性大動脈解離の手術の実施  はい  いいえ
      - ・心血管疾患等への早期リハビリ  はい  いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能強化、機能廃止等）について記入してください。

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑥在宅医療

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・在宅療養支援病棟の届出の有無 有り
- ・在宅療養後方支援病棟の届出の有無 有り
- ・訪問リハビリの実施（再掲） 対応している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑦訪問看護

- ・病院看護師が当該領域について対応しているか？ はい
- ・同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？ はい

（はいの場合 施設名称：国保中央病院訪問看護ステーション）

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

令和2年から訪問看護ステーションを稼働させており、その患者数は年々増加傾向にある。当初の数倍以上になっている。

訪問看護の需要が増えてきており、今後も規模を拡大し対応していく予定です。

⑧ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

- ・厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえた「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）を定めているか？ 定めている
- ・ 定めていない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑨小児医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・小児入院医療管理料の算定 している
- ・新生児特定集中治療室管理料の算定 している
- ・小児科病院二次給付体制への参加（再掲） 参加している

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

小児医療は、急性期医療（救急を含む）だけでなく慢性疾患（アレルギー疾患、けいれん性疾患、腎疾患、内分泌・代謝疾患）の診療にも力を入れています。

⑩周産期医療

- ・当該領域について対応しているか？ はい
- ・分娩の取扱いはいいえ
- ・ハイリスク分娩管理加算の算定 対応している
- ・ 対応していない
- ・ 対応していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑩新興感染症等の感染拡大時における医療

- ・発熱外来認定医療機関の認定を受けているか? はい いいえ
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性患者受入病棟の指定を受けているか? はい いいえ
- （重点医療機関等）
- ・新型コロナウイルス感染症の疑似症患者を受け入れているか? はい いいえ
- ・平時から感染管理の専門性を有する人材を確保しているか? はい いいえ
- ・平時から自病棟用で感染防護具等の備蓄をしているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ
- ・クラスター発生時の対応方針が院内で共有されているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

当初からは当院 6 階の地域包括ケア病棟をコロナ病棟としていたが、収束した場合には地域包括ケア病棟に戻す予定であり、その 6 階病棟の改修改修工事を予定しています。現在は 4 階病棟の一部をコロナ病棟として確保して、運用しています。今後また新興感染症の拡大時には再び感染病棟としての機能を果たせるように準備を整えておく予定です。

⑪医師の働き方改革

- ・医師の宿日直許可の取得状況  
取得済み 一部取得済み 取得予定 一部取得予定 取得予定なし  
 （一部の場合の範囲（ ）例：〇〇科以外、など）
- ・医師労働時間短縮計画の作成状況 作成済み 作成予定あり 作成予定なし
- ・特例水準指定の申請予定 予定あり 予定なし
- （予定ありの場合（複数選択）： B 水準・連携 B 水準・ C-1 水準・ C-2 水準）

現状と今後の方向性（現在の進捗状況や課題、今後の対応や取組方針）について記入してください。

当院は宿日直許可を平成 8 年に得ています。ただ今後とも医師の超過勤務時間などは常に把握し、時間数の多い診療科や医師への指導などは随時行っています。現在のところ適正時間内になっています。また本来の医師の仕事以外の事務的な仕事に関しては、タスクシフトとタスクシェアリングをすでに実行しており、さらに充実させていく予定です。

⑫災害医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・災害拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・DMAT 指定病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）への参加 参加している 参加していない

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

令和 2 年 12 月に BCP を策定し、以後毎年訓練を実施しており、BCP 及び BCP の遂行体制の持続的改善に取り組んでいます。

⑬へき地医療

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・へき地医療拠点病院の指定を受けているか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

⑭医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

- ・当該領域について対応しているか? はい いいえ
- ・基幹型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・協力型臨床研修病院の指定を受けているか? はい いいえ
- ・臨床研修協力施設であるか? はい いいえ
- ・専門研修の基幹施設であるか? はい いいえ
- ・専門研修の連携施設であるか? はい いいえ

今後の方向性（今後の対応や取組方針、他の医療機関との機能統合や連携、機能縮小、機能廃止等）について記入してください。

奈良県立医科大学付属病院や西和医療センターからの研修医を受け入れています。小児科、緩和病棟などを中心に研修、指導を行っています。

